

Press Release

報道関係者各位

2026年10月6日
セーフィー株式会社

セーフィーのクラウドカメラと工事現場の環境計測IoT「みまわり伝書鳩」が連携 異常検知メールから現場映像を直接確認、環境データと映像を組み合わせた安全管理を支援

クラウド録画サービスシェアNo.1（※1）のセーフィー株式会社（所在地：東京都品川区、代表取締役社長CEO：佐渡島 隆平、以下「セーフィー」）と、NXTech株式会社（所在地：東京都港区、代表取締役社長：廣沢 利英、以下「NXTech」）は、セーフィーが提供する屋外向けクラウドカメラ「Safie GO（セーフィー ゴー）」シリーズおよびウェアラブルクラウドカメラ「Safie Pocket（セーフィー ポケット）」シリーズなどとNXTechが提供する環境計測IoTクラウドシステム「みまわり伝書鳩」の機能連携を開始しました。本連携により「みまわり伝書鳩」で異常を検知した際、通知メールからセーフィーの現場映像を直接確認できるようになります。環境データだけでは把握しにくい現場の状況を映像で確認することで、異常発生時の迅速な状況把握と安全管理を支援します。



現場DX



■システム連携の背景

建設・土木現場では現在、強風・大雨・落雷などの悪天候への対応や気温上昇に伴う熱中症対策が欠かせません。厚生労働省の指針では、強風・大雨時の作業中止や気象情報を踏まえた落雷時の慎重な作業判断が示されています（※2）。また熱中症対策についても、WBGT値の把握やリスクに応じた適切な処置を実施するよう求められています。

こうした環境リスクを早期に把握するため、環境データをセンサーで計測し異常を検知した際に管理者へ通知する仕組みが活用されています。一方で、通知された数値だけでは異常発生時の現場の状況や対応状況まで把握することはできません。そこで、異常を検知した際に現場映像を

直接確認できるようにすることで、環境データと映像の両面から現場の状況を把握し迅速な安全管理につなげます。

■システム連携の概要

セーフィーは、映像データを防犯用途だけでなく、遠隔での状況確認や業務効率化、さらには映像解析による異常検知・予測など様々なソリューションを提供し、建設業界の課題解決に貢献してきました。セーフィーが提供する屋外向けクラウドカメラ「Safie GO」シリーズは、電源のみで設置でき、インターネット環境の整備が難しい場所でも遠隔から現場を確認できます。また、ウェアラブルクラウドカメラ「Safie Pocket」シリーズでは、現場の映像をリアルタイムに共有し、遠隔臨場や危険作業の見守りなどを支援しています。

一方、NXTechが提供する「みまわり伝書鳩」は、建設・土木現場の気象・環境データを計測し、クラウド上で一元管理するIoTシステムです。雷の接近やWBGT（暑さ指数）、風速・雨量などが設定した基準値に達した際には、管理者への通知メールに加え、積層灯やスピーカー、LED表示器などを通じて、現場の作業員へ注意を促します。

本連携により、「みまわり伝書鳩」が危険値を検知して送信する通知メールに、セーフィーのカメラ映像視聴画面へアクセスできるURLが自動で記載されます。管理者は、メールに記載されたURLをクリックすることでアラートが発生した現場の映像を速やかに確認できます。

● 環境データと映像による迅速な状況把握

- 「みまわり伝書鳩」が雷の接近やWBGT（暑さ指数）、風速・雨量などの設定した基準値への到達を検知すると、管理者へ通知メールが送信されます。メール本文に記載されたURLから現場に設置したセーフィーのカメラ映像に直接アクセスでき、環境データの異常と現場の状況をあわせて確認できます。

● 遠隔からの判断・指示を支援

- 管理者は現場から離れた場所からでも映像を確認し、現場の状況を把握できます。これにより、作業の一時中断や退避、現場待機など状況に応じた判断や指示を迅速に行うことを支援します。また、現場確認のための移動を減らすことで管理業務の効率化にもつながります。

● 現場と遠隔からの安全確認を支援

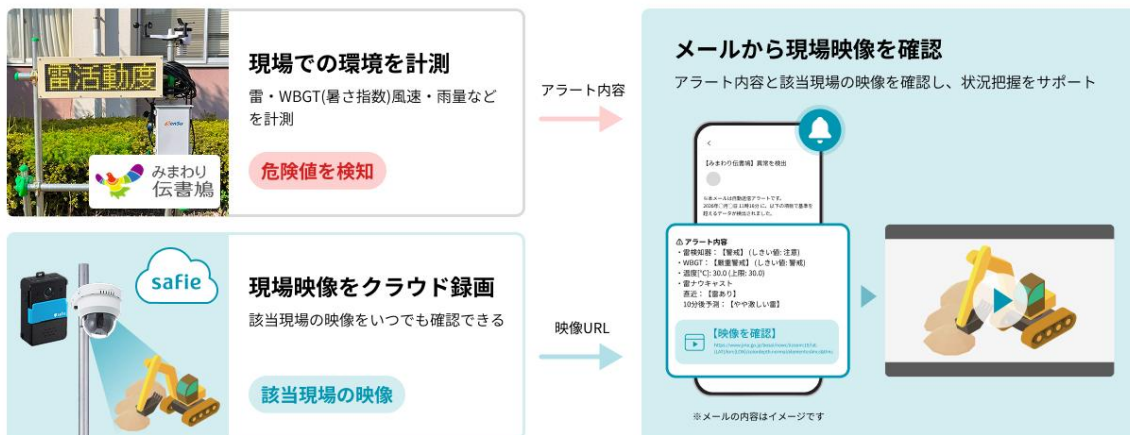
- 「みまわり伝書鳩」は、危険値を検知した際に、積層灯やスピーカー、LED表示器などを通じて現場の作業員へ注意を促します。これに加えて、遠隔の管理者が映像で現場の状況を確認することで、現場と遠隔の双方から安全確認を行うことができます。

● 対象範囲

- 屋外向けクラウドカメラ「Safie GO」シリーズ
- ウェアラブルクラウドカメラ「Safie Pocket」シリーズ
- その他、Safie PROプランのクラウドカメラにも対応

● 活用イメージ

- 建設・土木工事現場における安全管理
- 公共施設やイベント会場における防災



(※1) テクノ・システム・リサーチ社調べ「ネットワークカメラのクラウド録画サービス市場調査（2025）」より、エンジン別カメラ登録台数ベースのシェア（54.3%）

(※2) 出典：厚生労働省「労働安全衛生規則」第522条

https://www.mhlw.go.jp/web/t_doc?dataId=74003000&dataType=0

■今後の展望

セーフイーとNXTechは、本連携を通じて環境データと映像を組み合わせた安全管理を支援してまいります。今後も両社のサービスを活用し、建設・土木現場における迅速な状況把握と適切な判断を支援するとともに、現場の安全性と管理業務の生産性向上に貢献してまいります。

■クラウド録画サービス「Safie（セーフイー）」とは

Safieはカメラとインターネットをつなぐだけで、いつでもどこでも映像を確認できるクラウド録画サービスシェアNo.1のサービスです。

「映像から未来をつくる」というビジョンのもと、人々の意思決定に映像をお役立ていただける未来を創造し、企業から個人まで誰もが手軽に利用できる映像プラットフォームを目指しています。

我々は「映像データであらゆる産業の“現場”をDXする」というビジネスコンセプトを掲げ、小売、土木・建築、製造、医療などのあらゆる現場のDXを率先して推進しています。

セーフイーは、データガバナンスに関する下記指針を遵守すると共に、ステークホルダーの皆様と協調して啓発活動にも取り組んでおります。また、社外有識者よりプライバシー保護などに関する助言を受けながら、指針及び実務上の運用基準の見直しを行っております。

- ・ [データガバナンスに関する取り組み](#)
- ・ [データ憲章](#)（2022年4月1日発行）



映像から未来をつくる

【セーフイー株式会社の会社概要】

所在地 東京都品川区西品川1-1-1 住友不動産大崎ガーデンタワー

設立 2014年10月

代表者 佐渡島 隆平

事業内容 クラウド録画・映像管理プラットフォーム『Safie（セーフイー）』の運営

サービスサイトURL <https://safie.jp/>

コーポレートサイトURL <https://safie.co.jp/>
採用ページ <https://safie.co.jp/teams>

【本件に関するお問い合わせ先】
セーフィー株式会社
<https://safie.jp/>
Email pr@safie.jp
池上 紗耶香 / 070-1523-3240